

事務事業名	市愛育会運営・支援事業		所属部局	保健福祉部	単位番号	5227																							
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	健康増進課	課長名	深澤 秀																							
			所属担当	保健相談担当	担当者名	清水美佐子																							
基本政策	基本計画体系	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目																			
政策	18	健康づくりの推進	事業区分	01	一般	04	01	01	020	14																			
施策	31	保健・医療の推進		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業																								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度)			<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付事業																								
	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> その他の事業																								
事業の内容・概要	期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載		法令根拠	(母子保健法第9条)																									
	1、合併前より各町村に愛育会があり、平成15年の合併を期に5ヶ町村の愛育会が連合会として発足した。(芦安地区は休会となる) 2、活動目的・内容 市内各地区愛育会の相互の連携と組織強化を図り、市民の健康づくりの推進と実践活動を通じて愛育活動の普及をする。事業として役員会や研修会の開催、地区行事等への協力。平成25年度は10周年にあたり、10年間の総まとめと愛育活動の普及のため記念事業を開催する		事業費の主な内訳 (25年度 決算見込)	<table border="1"> <tr> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> </tr> <tr> <td>機械及び車両借り上げ料</td> <td>110</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>協議会・協会・団体補助金</td> <td>1,326</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>会議研修等参加負担金</td> <td>4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>計</td> <td>1,440</td> </tr> </table>							項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)	機械及び車両借り上げ料	110			協議会・協会・団体補助金	1,326			会議研修等参加負担金	4					計
項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)																										
機械及び車両借り上げ料	110																												
協議会・協会・団体補助金	1,326																												
会議研修等参加負担金	4																												
		計	1,440																										

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない
25年度活動実績	⇒	ア 総会・役員会・理事会の開催回数 回
26年度活動予定	⇒	イ 理事・班長・会員研修会の開催回数 回
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⇒	ウ 参加延べ数 人
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	⇒	ア 理事の数 人
	⇒	イ 班長の数 人
	⇒	ウ 会員の数 人
	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない
	⇒	ア 会員の数 人
	⇒	イ 愛育会総会の出席者割合 %
	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない
	⇒	ア 健康かがやきプラン市民実態調査回収率 %

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)
年間トータルコスト	事業費	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	1,804	2,771	1,440	1,306	1,300	1,300	1,300
		事業費計(A)	千円	1,804	2,771	1,440	1,306	1,300	1,300	1,300
	人件費	正規職員従事人数	人	13	13	13	14	15	15	16
		延べ業務時間	時間	2,500	2,600	3,001	2,500	2,500	2,500	2,500
		人件費計(B)	千円	11,378	11,833	13,658	11,378	11,378	11,378	11,378
		(A)+(B)	千円	13,182	14,604	15,098	12,684	12,678	12,678	12,678
活動指標	ア	回	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	
	イ	回	4.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	
	ウ	人	890.0	912.0	912.0	912.0	912.0	912.0	912.0	
対象指標	ア	人	11.0	11.0	11.0	11.0	11.0	11.0	11.0	
	イ	人	26.0	26.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	
	ウ	人	15,778.0	15,542.0	15,328.0	15,328.0	15,328.0	15,328.0	15,328.0	
成果指標	ア	人	15,778.0	15,542.0	15,328.0	15,328.0	15,328.0	15,328.0	15,328.0	
	イ	%		68.1	67.4	70.0	70.0	70.0	70.0	
	ウ	%								
上位成果指標	ア	%								
	イ	%								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	昭和12年旧白根町源地区が愛育班として恩賜財団母子愛育会より指定され、村内保健文化水準の向上を目指し活動。その後、近隣の町村も旧白根町を中心に活動開始。全戸加入を掲げ、母子から高齢者を対象にする。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	昭和12年頃母子を取り巻く環境は悪く、出生数は多かったが、乳児・妊産婦死亡が多かった。衛生状況の改善により現在は死亡も激減。出生数は減少し、超高齢社会となる。プライバシー保護や希薄社会・高齢化により会
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	歴史がある活動であり、自治会の中での一つの組織として位置づいているところが多い。各地区ごと会費を加入世帯から徴収し、地域に還元している。活動をしているところは必要性を感じているが、停滞地区からは必要性を

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	役員は2年で交代をする組織であるため、交代した1年目はなかなか活動が進まない。また役員の不安や負担が大きいため、活動等の引継ぎを適切にするために班長研修会等を行った。前任者が引き継いだ年度の初期には活動に協力することになる。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	愛育会10周年として記念事業や記念誌の発行を行い、歴代の方々とも協力し検討して成し遂げ、活動の強化を図った。3歳児むし歯のない子の表彰が啓発活動へと移行期間として、3歳児のみならず他学年へもやや広げ

事務事業名	市愛育会運営・支援事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 市民の自主的な健康づくりの推進を図るために、地域ぐるみでの啓発活動や実践活動ができるので、施策に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 地区組織が活動することで、広い範囲での活動ができる。そのために必要な支援や情報提供を公共関与ですることにより、ボリュレーションアプローチができる。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 地域力を維持するためにも必要である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 地域組織活動の推進が難しい時代になってきている一方、地域力は弱くなり、健康課題も大きい中、心の問題や格差社会、少子高齢化など、今後社会がもたらす状況を考えても、組織形態や市政としてどうコミュニティのあり方を検討する必要性がある。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 地域を対象とした事業展開が進まない可能性がある。 市民組織としての健康づくり、地域づくりの意識が欠ける可能性がある。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 地域活動として73年あまりの歴史があり、全国的にも知名度もある。また、地区ごとの活動が引き継がれている。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 以前より会議等の保健師の出席も必要範囲内にそれぞれが調整してきている。活動の推進への支援も必要なので、これ以上削減余地は少ないと考えられる。特に来年度は模範愛育班としての助成金も減額(国の予算減のため)されてきたため、現状維持が妥当と思われる。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 地域に生活している人々を対象にした地区組織であり、地域での健康づくりをみんなで行うという目的から、市の保健師が支援していくことが、効果的と考える為委託等はできない。しかし、保健師の支援方法を検討していくが、地区担当の保健師の減少により、現状での関わる回数の削減は厳しいといった状況である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 連合会はそれぞれの地区の愛育会が構成メンバーになっている。地区の愛育会は原則全戸加入になっている。ただ休会地区があるので、その意味で考えると住民に公平ではないが、休会地区への働きかけも継続して行っていく予定である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	地域の中で地域とかがわりを持つ少ない団体であるので地域のために活発に活動してほしい、またその支援を行う。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 愛育会活動の必要性を伝え、つないでいながら、活動や体制等の見直しを行い、継続してスムーズに活動が推進していくように支援をしていく。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 愛育会役員と充分協議し、共に考え地域や時代にあった対応を検討する。支援者側も意思統一を図り支援していく。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
	成果優先度評価結果 ⑤																					
	コスト削減優先度評価結果 ⑨																					